【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年11月5日(2020.11.5)

【公開番号】特開2018-94262(P2018-94262A)
【公開日】平成30年6月21日(2018.6.21)
【年通号数】公開・登録公報2018-023
【出願番号】特願2016-243833(P2016-243833)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和2年9月17日(2020.9.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の情報と第２の情報とを送信可能な第１の処理実行手段と、
前記第１の処理実行手段が送信した前記第１の情報と前記第２の情報とを受信可能な第２の処理実行手段と、
を備える遊技機であって、
前記第１の処理実行手段が前記第１の情報を送信した後に前記第２の情報を送信する際における当該送信の間隔が異なることによって、
前記第２の処理実行手段が実行する処理の態様が異なるように構成されており、
前記第２の処理実行手段は、前記第１の情報を受信した場合に、第１の表示と前記第１の表示とは異なる第２の表示とを連続して実行可能である
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
[形態]
第１の情報と第２の情報とを送信可能な第１の処理実行手段と、
前記第１の処理実行手段が送信した前記第１の情報と前記第２の情報とを受信可能な第２の処理実行手段と、
を備える遊技機であって、
前記第１の処理実行手段が前記第１の情報を送信した後に前記第２の情報を送信する際における当該送信の間隔が異なることによって、
前記第２の処理実行手段が実行する処理の態様が異なるように構成されており、
前記第２の処理実行手段は、前記第１の情報を受信した場合に、第１の表示と前記第１の表示とは異なる第２の表示とを連続して実行可能である
ことを特徴とする遊技機。